

月刊の～の～

2025

9 月号

vol.45



かつての横町盆踊りの様子。
金魚すくいやジュースの販売などが出店し、
みんなで樽を囲んで踊ったという

インターン生が横町盆踊りの
歴史と地域の声を徹底調査！

今年も開催、横町盆踊り！

横町盆踊りは地区ごとに行われる盆踊りの一つ。長年に渡りおおの城まつりの前に開催されてきましたが、10数年前に城まつりを除いて各地区での盆踊りはしだいに廃れていきました。しかし「横町盆踊りを復活させたい！」という地域の声を受け、住民と横町編集部の手により二〇二二年から再度開催されることに。今年は復活以来4度目の開催。祭りのメインでもある盆踊りでは小学生から年配の方まで集まり、世代の枠を超えて踊りの輪が広がりました。特に印象的だったのは20分も続く神子踊りの長さ、腕を回して踊る際の「ぐるぐるぐるぐるチョン」の掛け声。参加者が一体となって踊りを楽しみました。初めてこの祭りに参加したインターン生の筆者も、祭りが終わる頃には振り付けを覚えて踊れるようになっていました。

踊り好き、ちえこさんに
インタビュー！

横町通りと熊野町通りの交差点に位置する「かせや呉服店」の浦田ちえこさんは、大野市に生まれ、親から受け継いだ呉服店を営んでいます。今回は横町盆踊りの開催にあたり、お祭り好きで知られるちえこさんにインタビューを行いました。

ちえこさんは小さい頃から横町盆踊りやおおの城まつりに参加し、踊りは身に染み付いて覚えているといいます。踊っている最中は他のことを忘れ、踊りに熱中することができ、それが楽しいのだと話してくれました。横町盆踊りが開催されなかった期間も有志で盆踊り練習会を開き、踊りを引き継いでいくことや祭りの復活に努めてきました。

近年では着物を着る人の数も少なくなりつつありますが、自分の着付けた着物を着て祭りに参加し、踊ってくれる人を見るのが嬉しいのだと語りながら笑顔がこぼれます。最後に祭りに対する思いを聞くと、「この先も長く祭りが続き、みんなに踊って欲しい。県外から帰省する若者たちの拠り所になってくれれば」とお話しいただきました。（祭りの参加者への聞き取り結果は裏面へ！）

9月 月間予定表

月刊の一の一を作っている横町編集部と
大野の印刷・編集室みなとの活動予定をご紹介します！

横

毎週水曜

水槽水替えの日

場所：横町スタジオ
時間：17:00-18:00
内容：横町水族館メンバーが水槽の水替えを行います



横

9/20
(土)

横町縁日

場所：横町スタジオ
時間：10:00-15:00
内容：奥越スパイス研究会のカレーや純ちゃん農園のお野菜を販売



み

9/14
(日)

COCONO 企画展 WS

場所：COCONO アートプレイス
時間：13:00-15:00
内容：まちを歩いてチラシをつくり印刷までやってみよう！

横

み

9/20
(土)

みんなのみんな WS

場所：大野の印刷・編集室みなと
時間：10:00-12:00
内容：みんなで作った民話をもとに絵を描いてみよう！

み

9/20
(土)

印刷室オープン日

場所：大野の印刷・編集室 みなと
時間：13:00-15:00
内容：予約不要の印刷ワークショップあり！



横

9/23
(火)

ミチトキテン

場所：郡上市合併記念公園
時間：10:00-20:00
内容：郡上市でのイベントに奥越スパイス研究会が出店

横

…横町編集部の予定

み

…大野の印刷・編集室 みなとの予定

月刊の～の～って？

「月刊の一の一」は、関西大学の研究拠点「横町スタジオ」を運営する横町編集部が発行するおたよりです。「まちを横から見る」というコンセプトで、「の～の～」と人に話しかけながら、毎月いろんな大野を紹介します。読み手である大野の人と一緒に作ることを大切にしているので、まちづくりや、編集・デザイン等に関心がある人はぜひご連絡ください！

横町編集部
Instagram



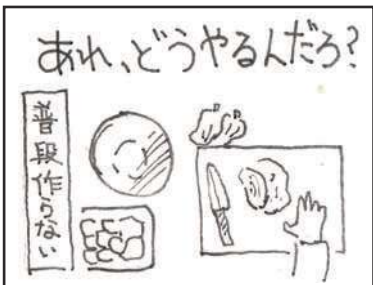
横町スタジオを 使ってみませんか？

コワーキングスペースでお仕事したり、自分で企画したイベントを開いてみたり、DIYでものづくりしたり…横町スタジオは、いろんな過ごし方ができる場所。ピンときた方はご連絡を↓



yokomachi.hensyubu@gmail.com

自炊できない
3人の学生
作: するめ



よこ道、わき道、まわり道。

のーのーNEWS

まちを歩いて 民話を作ってみた!

8月9日に「みんなのみんな」ワークショップの第3回目を開催しました。テーマは「まちを歩いて、お話を作ってみよう!」。水落地区を歩いて見つけた、たぬきの置物や水路に落ちた缶コーヒー、植物の緑に覆われた家などからお話が生まれました。民話は、声に出して話すことで伝わってきた物語。文字にしたものを声に出して読んでみることで面白さが増すような感覚を体験できました。次回の9月20日は、作ったお話を絵にしてみます!



作った民話をもとにしたグッズのアイデアなども出て、今後の展開が楽しみです。

大 学生たちが 大野で滞在学習!

8月は、関西大学をはじめ、県外の大学生たちが大野に滞在しながらインターンシップやフィールドワークに励んでいました。初めて会った学生同士の仲が深まるのは、やはり共同作業。1日の活動が終わった後にスタジオに集まって一緒に夜ご飯を作ったり、横町盆踊りの祭りの準備で協力したり…。今回の滞在をきっかけに、また来年の盆踊りなどに遊びにきてくれたらと願うばかりです。



ワイナリーや農園など、インターンシップ先のお仕事はさまざまでした。

おたより求ム!

川柳

写真

悩み

絵

読者投稿コーナーへのおたよりをお待ちしております。基本的にはなんでもウェルカムです。投稿いただいたおたよりは、月刊ののーのーで紹介させていただきます。横町スタジオに設置されているおたより箱または右記の二次元バーコードから投稿してください。



今月の投稿

短歌

(横町編集部
インターン生T)

灯の温もりを

集いし声に

雲並みの

ここに息づく

尊きは

インターン生として初めて見た大野の景色と横町盆踊りで感じたことを詠みました。

横から失礼!

気まぐれ
投稿コーナー

横町編集部インターン生による

横町盆踊りアンケート調査!

Q1. 世代を教えてください!

1位 10・20代 18人
2位 30・40代 14人
3位 50・60代 13人

Q2. どこに住んでいますか?

1位 大野市 28人
2位 福井県内(大野以外) 11人
2位 県外 11人

Q3. 横町盆踊りの参加は何回目ですか?

1位 初めての参加 23人
2位 2-4回 20人
3位 5回以上 8人

Q4. どの盆踊りが好きですか?

1位 大野音頭 29人
2位 しっちょいな節 10人
3位 神子おどり 4人



総評 (インターン生)
私たちはこの結果から、大野の中に「繋がり」を感じました。横町通りに住み続けている方々だけではなく初めて来たという人が多く、その理由としては家族や知り合いに誘われたため、お世話になっている人が携わっているためといったものが目立ちました。そして市民に広く知られている「大野音頭」、先人たちが受け継いできた教育の中にあるこの代表的な踊りは世代を超えて紡がれていくのだと思いました。今回の調査を通して私たちは人と人との繋がり、過去から現在、そして未来への繋がりを発見することができました。